



病院や食品工場では短時間で高精度に食中毒菌を特定定量検出する必要があるが、現状では1週間程度を要し、かつ食中毒菌の定性的検出のみである。そこで埼玉県の公設試験研究機関の研究シーズであるイムノクロマト法を活用した高感度迅速検出試験紙の基本技術を使用した食中毒菌の定量化読取装置開発と製品化を行った。テーマとして「O-157等食中毒菌の迅速・高感度検査試験紙読取装置の開発」として展開された。

**支援内容**◆(株)ひびきの日疋社長から、食の安心・安全を担保するために、喫緊の課題となっているO-157やノロウイルス等特定食中毒菌の迅速・高感度検査キットの開発ができないかと提議が出された。埼玉県よろず支援拠点は、公社の産学・知財支援グループと協力し、SAITECが所有するイムノクロマト法を使った特定食中毒菌の迅速・高感度検査キットを(株)ICSTが開発し、(株)ひびきと共同で販売するスキームを構築した。

**支援成果**◆3者の連携体は、(株)ICSTが中心となって、平成27年度埼玉県新技術・製品化開発費補助金に応募し採択された。補助金額2,000万円補助率100%の先端産業支援事業で、三者の一体的連携活動によって製品化の目的が立った。

**COコメント**◆埼玉県の食品加工会社(株)ひびきと医療機器メーカー(株)ICSTと研究機関(SAITEC)の3者からなる異業種連携体が「食の安心・安全」に取り組んだ埼玉県産業の多様性にもとづく画期的なプロジェクトと考える。

**株式会社 ICST**  
代表取締役 横井 博之  
〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合5-17-1 S-4タワー  
電話：048-857-8026 <http://icst.jp/>

**株式会社 ひびき**  
代表取締役 日疋 好春  
〒350-1109埼玉県川越市霞ヶ関北2-3-2  
電話：049-237-1000 <http://www.hibiki-food.jp/>

**埼玉県産業技術総合センター (SAITEC) 北部研究所**  
〒360-0031 埼玉県熊谷市末広2-133  
電話：048-521-0614 <http://www.saitama-itcn.jp/>

地元の中小企業と研究機関が知恵と技術を持ち寄って新製品を開発。